



JEAG Technical Updates

~ 迷惑メールの現状と技術的対策等について ~

第5回迷惑メール対策カンファレンス

2008.05.20

櫻庭 秀次

(株)インターネットイニシアティブ / JEAG

Agenda

- ◆ 迷惑メールの現状
- ◆ 迷惑メール対策の弊害
- ◆ 正しい対策の普及
- ◆ 国際的な取り組みとその動向

迷惑メールの現状

◆ メール受信の傾向

- 受信メール量は増大傾向が続いている
- 迷惑メール (spam) の割合も増加している
- SPF対象ドメインも増えているが全体量が増えているため割合としては増えていない

◆ 送信元の傾向

- 少数しか送信しない送信元が大部分を占める (大量送信元との二極化)
- これら少数の送信元は世界中に分散している
→ Botnet/Zombie PCs の拡大と拡散化
- 送信元情報 (ドメイン名) を繰り返し使うケースは少ない
→ ドメイン名の使い捨て傾向 → 要レジストラのチェック強化
→ SPF で認証されることを避けるためか none が増加し続けている
→ もはや none ドメインは判定評価を下げるべきでは?

迷惑メール対策の弊害

- ◆ 制限を強めると届かなくなるジレンマ
 - 迷惑メールフィルタの機能を強めると届かなくなる可能性
 - False Positive はなるべく避けたいが
 - Real Time Black/Block List の利用増加
 - 登録された場合の送信側の被害が大きい
 - 解除方針が不明瞭, 連絡先が分かりづらい等の問題点も
 - Black List に登録されていた IP address を知らずに再利用等
 - 独自の Block Policy による防御も増える傾向に
 - 判断の要因が複雑でより解除が難しく

- ◆ Backscatter 問題
 - 宛先不明のメールに対する bounce mail が詐称された送信元へ
 - もはや bounce mail を送信しない/受け取らないケースも増えつつある
 - typo 等ちょっとした間違いが送受信双方で気づかなくなる
 - 受け取ってもらえないことによる無駄な queue の滞留

⇒ 送信ドメイン認証技術で失敗 (fail/softfail) した送信元へは bounce を返さないようにすべき

正しい迷惑メール対策の普及

- ◆ 受け取らないよりもまず出さない努力を
 - 受信側に届くまで Internet 上を流れている → 無駄な通信
 - 受信するためのコスト → 受信設備の増加
 - 無駄なメールを無くすことにより正しいメールがきちんと届く仕組みを
 - 正しいメールはどれかを送信側が示すことが必要

→ *OP25B (Outbound Port 25 Blocking)*

→ *送信ドメイン認証 (Sender Authentication Technology)*

⇒ これらを global でも普及で普及させることが必要

国際的な取り組みの重要性

◆ Internet は Global な Infrastructure

- 国内発の迷惑メールの割合は大きく無い ← 様々な取り組みにより
- 海外からの迷惑メール送信は増加傾向
- Internet が整備されるにつれて迷惑メールも増加
- Botnet により送信元の拡散化 → もはや特定の国だけの問題ではない
- 迷惑メール (spam) 送信は既にビジネスとして確立
→ **Less Risk**: less violence, less jail time, more profit

◆ Global な視点

- 日本の対策状況の説明
→ 対策事例 (OP25B, SenderAuth, 携帯事業者の取り組み) の共有
→ 日本がもはや迷惑メール送信国ではないことの認知
→ 日本の評判 (reputation) の向上 → 日本発メールのブロック抑制
- 意思疎通の確保
JEAG: 国内での話し合いの場 → 同じ枠組みを Global でも

国際的な取り組みと動向 – MAAWG



◆ Messaging Anti-Abuse Working Group

- JEAG 設立の契機となった国際的な迷惑メール対策団体
- 2004.01.19 国際的な通信事業者や ISPs を中心として 19社で創設, 現在は 163社が加盟
- IJ は立ち上げから参画し, 現在でも日本で唯一のメンバ

◆ 活動内容

- 3回/年開催される General Meeting
 - ◆ 2008.02.18-02.20 12th General Meeting @ SanFrancisco, USA
 - ◆ 2008.06.10-06.12 13th General Meeting @ Heidelberg, Germany
 - ◆ 2008.09.22-09.24 14th General Meeting @ FortLauderdale, USA
- 各種ドキュメントの作成
 - ◆ Best Practices
 - ◆ White Paper
 - ◆ MAAWG Email Metrics Reports
 - ◆ <http://www.maawg.org/about/publishedDocuments>

MAAWG Documents

- ◆ Senders Best Communications Practices
 - 大量メール送信者向けの Best Practices
 - 同意事項の明確化 (利用目的, 送信頻度と間隔, 第三者利用について)
 - 登録解除は出来る限り簡単に
 - 送信側としての責務 (ISPs/ESPs ポリシーの遵守, 全ての送信ドメイン認証技術の対応, 送信者の認識が容易にできるように)
 - Bounce 管理とアドレスリストの保守, etc
- ◆ Abuse Desk Common Practices
 - サポート業務の Best Practices
 - ARF (Abuse Reporting Format) の利用推奨等
- ◆ MAAWG Best Practices for the Use of a Walled Garden
 - Botnet/Zombie に対抗するために HTTP, SMTP, C&C 通信の管理
- ◆ MAAWG Email Autentication White Paper

国際的な取り組みと動向 – Policy Sides + α

◆ StopSpamAlliance

- ITU (International Telecommunication Union)
- OECD
- LAP (London Action Plan)
- APEC
- Seoul-Melbourne MoU
- CNSA (The EU Contact Network of Spam Authorities)
- Associate Partners
 - ◆ APCAUCE (Asia Pacific Coalition Against Unsolicited Commercial Email)
 - ◆ APT (Asia-Pacific Telecommunity)
 - ◆ CAUCE North America
 - ◆ ISOC (The Internet Society)
 - ◆ MAAWG (Messaging Anti-Abuse Working Group)



今後に向けて

- ◆ 迷惑メールはもはや国内だけの問題ではない
- ◆ 出来ることをできるところから
 - 成功事例の共有と取り込み (Best Practices)
 - 送信側は自ら襟元を正す努力を (ISPs, ESPs, 送信事業者, etc)
- ◆ 国際会議の場などを通じた人的連携
 - Face-to-Face での面識の重要性
 - 問題 (spam 送信, 受信 block) が生じたときの連絡先確保
 - 今後の対策の方向性を模索
 - 参加できるような環境作りも必要
- ◆ 迷惑メール対策には, 技術, 法制度, 啓蒙活動, そして協調による総合的な封じ込めが重要